

■交読 ルカの福音書 1章 46～55節

- 46 マリアは言った。
「私のたましいは主をあがめ、
- 47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。
- 48 この卑（いや）しいはしために
目を留めてくださったからです。
ご覧ください。今から後（のち）、どの時代の人々も
私を幸いな者と呼ぶでしょう。
- 49 力ある方が、
私に大きなことをしてくださったからです。
その御名（みな）は聖なるもの、
- 50 主のあわれみは、代々にわたって
主を恐れる者に及びます。
- 51 主はその御腕（みうで）で力強いわざを行い、
心の思いの高ぶる者を追い散らされました。
- 52 権力のある者を王位から引き降ろし、
低い者を高く引き上げられました。
- 53 飢えた者を良いもので満ち足らせ、
富む者を何も持たせずに追い返されました。
- 54 主はあわれみを忘れずに、
そのしもベイスラエルを助けてくださいました。
- 55 私たちの父祖たちに語られたとおり、
アブラハムとその子孫に対するあわれみを
いつまでも忘れずに。」

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる共同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 1章18～2章12節

【1章】

- 18 イエス・キリストの誕生は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人がまだ一緒ににならないうちに、聖霊によって身ごもっていることが分かった。
- 19 夫のヨセフは正しい人で、マリアをさらし者にしたくなかったので、ひそかに離縁しようと思った。
- 20 彼がこのことを思い巡らしていたところ、見よ、主の使いが夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフよ、恐れずにマリアをあなたの妻として迎えなさい。その胎に宿っている子は聖霊によるのです。
- 21 マリアは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方がご自分の民をその罪からお救いになるのです。」
- 22 このすべての出来事は、主が預言者を通して語られたことが成就するためであった。
- 23 「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。
その名はインマヌエルと呼ばれる。」
それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。
- 24 ヨセフは眠りから覚めると主の使いが命じたとおりにし、自分の妻を迎え入れたが、
- 25 子を産むまでは彼女を知ることはなかった。そして、その子の名をイエスとつけた。

【2章】

- 1 イエスがヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東の方から博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。
- 2 「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちはその方の星が昇るのを見たので、礼拝するために来ました。」
- 3 これを聞いてヘロデ王は動揺した。エルサレム中の人々も王と同じであった。
- 9 博士たちは、王の言ったことを聞いて出て行った。すると見よ。かつて昇るのを見たあの星が、彼らの先に立って進み、ついに幼子のいるところまで来て、その上にとどまった。
- 10 その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ。
- 11 それから家に入り、母マリアとともにいる幼子を見、ひれ伏して礼拝した。そして宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。
- 12 彼らは夢で、ヘロデのところへ戻らないようにと警告されたので、別の道から自分の国に帰って行った。

■聖歌 84 「みかむりをもなれば捨てて」

- ①みかむりをも なれば捨てて 世に 降りまししに
ただの 一間（ひとま）さえもあけて むこうる家なし
君よ この心に きたり住みたまえ
- ②御使いらは 声をあげて ほめたたえ まつれど
救い主の おおみあれを ことほぐ人なし
君よ この心に きたり住みたまえ

■頌栄 聖歌 377 「すべてのめぐみの」

すべての恵みの もとなる御神（みかみ）を
造られしものよ いざ たたえまつらん アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・ 招詞 招詞を読みます
- ・ 賛美 歌います
- ・ 主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・ 交読 交読箇所を読みます
- ・ 礼拝祈禱 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・ 使徒信条 使徒信条を告白します
- ・ 聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・ 説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・ 賛美 歌います
- ・ 献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・ 頌栄 頌栄をささげます
- ・ 祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上にとこしえにありますように アーメン」